カラ調整愛藏シタ腊葉帖「枝葉折叢」ニモ伊豆梛葉ト云フノガアルト白井光太郎博士ガ植物學雜誌第七卷十二號ニ記シテ居ル。

江戸時代ハなぎノ非常ニ流行シタ時代デ草木錦葉集ニハ今日吾人ノ見ル能ハザル品種ヲ實ニ五十餘種モ圖說シテ居ル。コノ流行ノ波ニ乘リ且ツ古來カラノ傳說ト結ビツキ伊豆山ノなぎモ有名ニナツタモノト思ハレル。神社ノ門前デハ今デモコノなぎノ繪馬樣ノモノヲ賣ツテ居ル。シカシ見タ所デハなぎトシテハソレ程ノ名木トモ思ハレナイ。

次ハ既ニ本誌 XIV 卷6號デ述ベテ置イタ通リいづせんりやうガ澤山アツテ、此名稱ハ此ノ伊豆山トニカリノ深イモノデアル。ソレカラ神域ニハしろやましだノ相當ナ群生ガアリマタ社殿ノ右側ノそめゐよしのノ小枝ニハ枝ニ相當ナ小サナおほばやどりぎガ一本着イテ居ル。之ハ寄主ガ珍ラシイカラ是非保存シテオキタイモノデアル。又コノ神域ニハ本物ノみやましきみガ見ラレルシ、おほばのちどめぐさガ林中デ見ラレル。

○伊豆玄(クロ)嶽ヲ紹介スル（久内清孝）

伊東線ノ多賀驛デ降リ玄嶽ヘ行ツテ見タ。玄嶽ハ丹那盆地ノ地形ヲ見ルノニハ屈指ノ地點ノ一ツデ往年半島出身ノ女流飛行家朴孃ガ悲慘ナ最後ヲ遂ゲタ地點デアル。何シロ正月ニ行ツタノデアルカラ果シテドンナ草木ガアルノカ判ラナイガおとめかんあふひトあまぎかんあふひガアツタ事ダケハ慥カデアル。之等ハ多賀ノ村落ニモ相當ニ產スル。

尙あまぎかんあふひハ先年伊豆ノ伊東デモ見付カリ今之ヲ多賀ニ發見シタノデアルガ更ニドノ位東ノ地點迄見付カルカハ今後若干ノ興味アル問題デアル。天城かんあふひガ多賀ニ產スルコトハ誰レカニ聞イタ樣ダガ爲念記シテオク。

コノ外いぬがし、なはしろぐみナドハ東京人ノ目ニハ珍ライシ木デアルニ違ヒナイ。

○日本產 Gomphosphæria ノ新多產地ヲ報ズ（岡田喜一）

Gomphosphæria ハ *Chroococcaceæ* ニ屬スル微細ナ藍藻類デ、現在僅カニ7種類（3種、4變種）ヲ包含スルニ過ギナイ屬デアル。卽チ、*G. lacustris* CHODAT ; *G. rosea* (SNOW) LEMM. 及ビ *G. aponina* KÜTZING ト其變種 var. *cordiformis* WILLE ; var. *limnetica* VIRIEUX ; var. *delicatula* VIRIEUX ; var. *multiplex* NYGAARD デアル。

此中、目下日本カラ知ラレテキルモノハ僅カニ *multiplex* ノミデアルガ、此變種ハ甚ダ珍稀ナ熱帶性ノ種類デアルト共ニ其分布ガ頗ル極限サレタモノトセラレテキタ。卽チ、本種ハ Dr. NYGAARD ニ依ツテマレーノ珊瑚礁上ノ一湖沼中カラ發見セラレテ以來他ニ產地ヲ見ズ該地特有產トサレテキタガ、偶ゝ 1932 年、之ヲ我ガ臺灣ノ殆ド最南端ニ位スル紅頭嶼ノ瀦水中カラ僅少ナガラ檢出シ得タ* 事ハ興味アル事實ト考ヘラレル。

然ルニ 1937 年4月、筆者ハ日本學術振興會ノ援助ニ依リ琉球諸島ヘ淡水藻類ノ研究調

* Yoshikazu OKADA: The Fresh. Alg. Botel Tobago Is. or Kôtôsho (Bull. Biogeogr. Soc. Japan) p. 55, pl. 5, fig. 1, 1932.